

# 平成29年度群馬県高等学校弓道選手権大会（兼）第62回全国高等学校弓道大会県予選会 要項

- 1 主催 群馬県高等学校体育連盟
- 2 主管 群馬県高等学校体育連盟弓道競技専門部
- 3 開催日 平成29年6月10日（土） 女子団体予選・女子個人予選・女子個人準決勝  
平成29年6月11日（日） 男子団体予選・男子個人予選・男子個人準決勝  
平成29年6月17日（土） 男女個人決勝・男女団体決勝
- 4 日程 受付（選手1名＋顧問）8：10～8：20・監督会議8：30～・開会式9：00～  
\*係職員と当番校は8時に集合し準備する。決勝日の係職員・当番校の割り当ては、男女各予選日に決定する。  
\*当番の仕事内容は、プログラム内のマニュアル等を参照する。
- 5 会場 10日-ヤマト市民体育館前橋弓道場（遠・副競技場）前橋市上佐鳥町460番地7 電話027-265-0900  
11日-ヤマト市民体育館前橋弓道場（遠・13時～柔）前橋市上佐鳥町460番地7 電話027-265-0900  
17日-ALSOKぐんま武道館弓道場（遠）前橋市関根町800番地 電話027-234-1200
- 6 競技種目 近的競技 的中制 直径36cm霰的（ビニール製の紙）
- 7 競技種別 男子の部・女子の部
- 8 競技種類 団体戦…男女とも各校1チーム-選手6名（正選手5名・補欠1名）以内  
個人戦…男女とも各校補欠を含む団体戦登録選手（団体出場選手は団体戦の的中を個人戦の的中とする）
- 9 競技規定 全国高等学校体育連盟弓道競技規則・全国高等学校弓道大会競技運営細則による。
- 10 競技方法 団体戦 予選 …5人立2射場 立射  
決勝 …5人立2射場 坐射→できない場合は顧問会議で理由を顧問が口頭で報告し立射申請する。  
個人戦 補欠予選…3人立4射場 立射  
準決勝 …3人立4射場 立射  
決勝 …3～5人立 2～4射場 坐射→できない場合は顧問会議で理由を顧問が口頭で報告し立射申請する。  
団体戦 予選1・2回戦…1チーム40射（各自8射）を行い、男女とも上位6チームを通過とする。  
\*決勝立順は予選中の上位チーム（同中の場合は立順）より抽選する。若番を第1射場とする。  
\*競射による決勝進出チームが複数ある場合も、立順の早いチームより抽選する。  
\*5人立の立射団体は制限時間6分30秒で合図し7分以内とする。  
\*5人立の坐射団体は制限時間7分30秒で合図し8分以内とする。  
（計時は参考とする。著しく遅い場合は本部より、顧問を通して注意する。）  
団体戦 決勝リーグ …男女別に6チームのリーグ戦とする。  
\*1チーム20射（各自4射）×5試合行う（決勝リーグ戦の競射1本目は替矢で行うので準備をする）  
\*5戦結果、順位決定は①～③で行う。①勝ち数の多いチーム②勝ち数が同数の場合は的中の上位③射詰め競射  
\*選手の交代は3回認める。第3控に入るまでに所定の用紙に記入し、監督が本部に届け出る。  
個人戦 予選…各自8射を行い、男子6中以上、女子5中以上を予選通過とする。  
準決勝…予選通過者が各自8射を行い、予選成績と合計して男女別に上位約11～20名程度を通過とする。  
決勝…各自8射を行い、予選と準決勝の成績と合計して順位を決定する。  
\*出場権のかかる順位決定は射詰めとする。それ以外は遠近（多人数の場合は複数の使用）で順位を決める。  
\*個人戦の射詰競射は4射の中が続いても結果が出ない場合は、八寸的（星的）を使用する。
- 11 競技順序 団体予選・個人予選・個人準決勝  
①団体予選1回戦（個人予選兼ねる・2名以内のチームは2名以内の最初の立に詰める）  
②補欠個人予選1回戦  
③団体予選2回戦（個人予選兼ねる・2名以内のチームは2名以内の最初の立に詰める）  
④補欠個人予選2回戦  
⑤団体決勝リーグ戦進出が決まらない場合の競射  
⑥決勝リーグ戦抽選 + 個人準決勝の招集 →抽選会場は近的射場控  
⑦個人準決勝（矢返しは第3控に持って行く）  
団体決勝・個人決勝  
①個人決勝  
②個人優勝・準優勝決定射詰競射  
③個人優勝・準優勝以外決定遠近競射  
④団体リーグ戦（競射2本目がある場合の矢返しは矢道を通り進行に渡す。以後4本ごとに同様に矢返し）  
⑤団体順位決定競射  
⑥個人・団体の代表校監督会議  
⑦閉会式・表彰式
- 12 引率監督 団体引率責任者は、校長の認める当該校の職員とする。（公立学校にあつては教員とする。）  
個人引率責任者は、校長の認める学校の職員とする。（公立学校にあつては教員とする。）  
監督は校長が認める指導者とし、外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に加入する。

- 13 参加資格 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。大会申込までに高体連弓道競技専門部に登録した生徒であること。  
年齢は早生まれの者は18歳以下とし、それ以外の者は19歳以下とする。  
出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。  
チーム編成は、全日制、定時制、通信制の生徒による混成は認めない。統廃合対象学校は合同チームを認める。  
転校後6ヶ月未満のものは参加を認めない。ただし、一家転住の場合は、特例として参加を認める。  
参加選手は、あらかじめ健康診断を受けていること。
- 14 表彰 男女ともに  
団体 1位 賞状・楯・メダル・優勝旗（持ち回り）  
2～3位 賞状・楯  
4～6位 賞状（4～6位-専門部賞状）  
個人 1位 賞状・トロフィー・メダル  
2～5位 賞状・トロフィー  
\*昨年度団体優勝校「男・市前橋」「女・高女」は優勝旗の返還をする。
- 15 代表権 男女ともに団体1位のチームと個人1位～2位の選手に代表権が与えられ、辞退があった場合は次の順位に繰り下げる。  
\*団体代表権を獲得したチーム内に個人1位、2位が含まれた場合も個人代表権を認める。  
\*第62回全国高等学校弓道大会 平成29年8月1日～4日於・宮城県仙台市カメイアリーナ仙台特設弓道場
- 16 参加料 男女ともに1校2,000円（当日受付けに払込むこと）
- 17 申込方法 申込ファイルに入力の上、6月1日（木）16:00（期限厳守）必着で下記宛メールする。  
申込先 高体連弓道専門部 MAIL gunkyumi@yahoo.co.jp
- 18 プロ編成 6月6日（火）13:30より渋川青翠高校にて委員長・副委員長・常任委員により実施する。
- 19 注意事項 ①プログラムに記載された番号のゼッケンを右腰に付けること。  
②引率責任者不在の場合は選手の参加は認めない。  
③顧問の昼食については、大会申込ファイルで事前に申し込みをする。  
④弓具には記名しておくことが望ましい。（忘れ物があった時は忘れ物コーナーに置いておく）  
⑤床の柱は小さく積む。妻子の留の具や柱の幅が広い押手床、小指付依の押手床、ゴム底の足袋の使用は禁止する。  
⑥追い越し発射は追い越した矢を無効とする。  
⑦進行の「起立・始め」の号令は矢取り終了後にかける。  
（制限時間がない個人戦などの場合は最後の射手が足踏みを閉じたら号令をかける）  
⑧弦切れの場合、介添えが弓を張る（申し出があった場合は進行が張る）  
⑨服装、応援などについては顧問会議の取り決めに従うものとする。  
⑩第3控後ろの通路での応援や選手への指導は禁止する。観客席では私語は慎むこと。  
⑪貴重品の管理は各自で行うこと。  
⑫会場での飲食等ででたゴミは必ず持ち帰ること。  
⑬大会当番は準備・仕事・片付けを行い、片付け終了後は大会委員長または大会副委員長に報告をする。  
⑭大会申込書の提出で、学校名・学年・氏名の個人情報の取り扱いについて、承諾を得たものとする。  
大会プログラム・事務連絡文書の記載と、大会プログラム・結果のWebページへの掲載に使用する。  
※Web公開する大会プログラムにはパスワードを設定し関係者以外は見られないようにする。